



令和6年9月12日
国際農研

米国国務省キャリー・ファウラー博士のシンポジウムを開催 — 作物遺伝資源多様性保全の第一人者が語る レジリエントな食料システムの未来—

ポイント

- ・ 2024年世界食糧賞受賞者キャリー・ファウラー博士の特別シンポジウムを令和6年10月11日（金）に東京大学弥生講堂にて開催
- ・ アフリカにおける強靱な食料システム実現のための「適応作物と土壌に関するビジョン(VACS)」の目的や展望などについて紹介

概要

国際農研は、令和6年10月11日（金）に特別シンポジウム『作物遺伝資源多様性保全に捧げたキャリアと適応作物と土壌のための新ミッション』を東京大学弥生講堂にて開催します。

気候変動や食料安全保障の課題が深刻化する中、持続可能な農業の実現のためには、地球規模で多様な遺伝資源を保全し、利用することが重要です。本シンポジウムでは、この分野の第一人者であり、2024年世界食糧賞（World Food Prize）受賞者に選ばれた米国国務省の世界食料安全保障担当特使キャリー・ファウラー博士をお招きし、レジリエントな農業と食料システムの実現に向けた取組について議論します。

本シンポジウムでは、キャリー・ファウラー博士による基調講演（作物遺伝資源多様性保全の重要性、2024年世界食糧賞受賞に至る取組）に加え、アフリカにおける強靱な食料システム実現のための適応作物と土壌に関するビジョンとして、VACS（Vision for Adapted Crops and Soils）の目的と展望について紹介します。さらに、パネルディスカッションでは、アフリカでの適応作物や土壌の研究経験のあるパネリストを交え、協力可能性のある分野について意見交換を行います。

本シンポジウムは、食料安全保障や持続可能な農業に関心のある研究者、政策立案者、学生にとって貴重な学びの機会になることが期待されます。

【開催概要】

2024年世界食糧賞受賞者 キャリー・ファウラー博士特別シンポジウム：作物遺伝資源多様性保全に捧げたキャリアと適応作物と土壌のための新ミッション

1. 開催日時：2024年10月11日（金）14:00～16:30 （会場受付 13:30 より）
2. 開催場所：東京大学弥生講堂 一条ホール

(東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内)

* 会場参加は 200 名を予定しています。

* Zoom ウェビナーを利用したオンライン視聴を併用。

3. 主 催：国際農研

4. 後 援：外務省、農林水産省、農学知的支援ネットワーク (JISNAS)

5. 申込方法：国際農研のホームページからお申し込み下さい。

日本語：<https://www.jircas.go.jp/ja/event/2024/e20241011>

英語：<https://www.jircas.go.jp/en/event/2024/e20241011>

(申込締切：2024 年 10 月 9 日 (水) 17:00)

6. 使用言語：日本語・英語 (同時通訳あり)

7. 参 加 費：無料 (どなたでも参加できます)

【プログラム】 ※若干変更となる場合があります。

時間	演題および登壇者
14:00-14:10	開会挨拶 小山 修 国際農研 理事長 窪田 修 農林水産省 国際食料情報特別分析官 西村 泰子 外務省 経済局資源安全保障室長
セッション1：ファウラー博士のキャリアを振り返る：強靱な農業・食料システムのための遺伝資源多様性保全	
14:10-14:20	日本ジーンバンクの紹介 松井 勝弘 農研機構 遺伝資源研究センター 植物資源ユニット ユニット長
14:20-14:30	ファウラー博士の経歴紹介 岩永 勝 国際農研 顧問
14:30-15:15	基調講演 Cary Fowler 米国国務省 世界食料安全保障担当特使
セッション2：VACS とは？ アフリカにおける強靱な食料システム実現のための適応作物と健全な土壌のビジョン	
15:15-15:25	西アフリカの食料安全保障における、無視され十分に活用されてこなかった植物種の重要性 Alexandros Gasparatos 東京大学 教授
15:25-15:35	スーダンサバンナにおいて将来の気候リスクを緩和する土壌類型ごとのササゲ栽培システム 井関 洸太朗 国際農研 主任研究員
15:35-15:45	適応作物のための健全な土壌-異分野連携の必要性 中村 智史 国際農研 プロジェクトリーダー
セッション3：ファウラー博士との意見交換	
15:50-16:25	パネルセッション、Q&A 座長: Sarr Papa Salio 国際農研 主任研究員
16:25-16:30	閉会挨拶 江原 宏 名古屋大学農学国際教育研究センター センター長 農学知的支援ネットワーク (JISNAS) 事務局長

【キャリー・ファウラー博士の略歴】



米国テネシー州出身。スウェーデンのウプサラ大学で博士号を取得。

世界作物多様性トラスト（Global Crop Diversity Trust :Crop Trust）の設立に尽力、現代版「ノアの箱舟」と称されるスヴァールバル世界種子貯蔵庫（Svalbard Global Seed Vault）の父として知られる。世界の食料安全保障に不可欠な作物の多様性と遺伝資源の保全への長年の貢献が評価され、ファウラー博士は、ジェフリー・ホーティン博士とともに、2024 年世界食糧賞受賞者に選ばれた。

問い合わせ先など

国際農研（茨城県つくば市） 理事長 小山 修

研究推進責任者：国際農研 プログラムディレクター 飯山 みゆき

研究担当者：国際農研 情報広報室 プロジェクトリーダー 白鳥 佐紀子

広報担当者：国際農研 情報広報室長 大森 圭祐

Tel : 029-838-6708 Fax : 029-838-6337

プレス用 e-mail : koho-jircas@ml.affrc.go.jp

本資料は、農政クラブ、農林記者会、農業技術クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。

※国際農研（こくさいのうけん）は、国立研究開発法人 国際農林水産業研究センターのコミュニケーションネームです。
新聞、TV 等の報道でも当センターの名称としては「国際農研」のご使用をお願い申し上げます。